

2022 Race Report

2022 FIM 世界耐久選手権 第3戦

“コカ・コーラ”鈴鹿 8 時間耐久ロードレース第 43 回大会

会場:三重県 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1 周 5.821km)

日時:8 月 4 日(木)受付・車検 天候:曇りのち雨

8 月 5 日(金)予選 天候:晴れ時々雨

8 月 6 日(土)公式練習 天候:曇り時々雨

8 月 7 日(日)決勝 天候:晴れ

観客動員数 4 日間延べ 4 万 4,000 人

ライダー:#42 櫻山 茂昇/東村 伊佐三/岡村 光矩

マシン:BMW S1000RR

予選:45 チーム中 29 位(平均 TIME 2'12'406)

結果:45 チーム中 35 位(160 周 Best TIME 2'13.748)

日頃より信州活性プロジェクト Team 長野にご支援、ご声援をいただきまして、誠にありがとうございます。信州活性プロジェクト Team 長野は全日本ロードレース選手権と鈴鹿 8 耐に参戦することで、日本全国そして世界へ長野県を PR し長野地域の活性化及びモーターサイクルの普及を目的として活動しています。

その鈴鹿 8 耐が新型コロナの影響により 2 年連続中止となっていました。3 年ぶりに開催となりました。3 年前の赤旗中断によりゴールする事が叶わなかったチェッカーフラッグを受けること、完走することを目標にチーム一丸となって闘いました。

■公式予選

8 月 2 日、3 日の公式練習を踏まえマシンのセットアップを進めましたが、フロントタイヤの旋回性が向上せず懸念を抱えたままの予選となりました。予選前にもう一度、フロントの旋回力向上を狙ってパーツ変更を行い予選に臨みました。8 耐の予選はグリッドを決めるための予選となります。参加ライダーがそれぞれの予選セッションでアタックを行い、上位 2 名のライダーの平均タイムによって決勝のグリッドが決まります。また、各ライダーは各予選セッションのトップライダーの 108%以内という基準タイムをクリアしなくてはなりません。

●RiderBLUE 櫻山選手 天候:晴れ

櫻山選手は、オンタイムでコースインを行い集団の中でアタックを開始しました。その作戦が功を奏しコースイン 2 周目アタック開始 1 周目で 2'12.464 を計測しました。その後もう 1 周計測を行い 4 週目にコースアウト、ピットインしました。108%の基準タイムをクリアし 33 位となりました。

●RiderYELLOW 東村選手 天候:晴れ

東村選手は、コースイン時間を遅らせ単独でのコースインでアタックを行いました。東村選手もコースイン 2 周目計測 1 周目で 2'12.348 のタイムを計測しました。その後マシンセットアップを更に進め予選終了となりました。東村選手も 108%の基準タイムをクリアし 28 位となりました。

●RiderRED 岡村選手 天候:雲のち雨

岡村選手の予選は荒れた展開となりました。予選開始直前に鈴鹿サーキット周辺は雨雲が立ち込

め雨粒が落ち始めていました。岡村選手は変更の悪化を瞬時に察知して、予選は早めのスタートを選択し先頭集団からのスタートを選択しました。そして、各車コースイン直後の降雨となり、ドライ用のスリックタイヤではアタックが厳しかったため一度ピットインを行いました。その後、雨は止み走行ライン上は再び濡き初めていました。その大変なコンディションの中、岡村選手はスリックタイヤでのアタックを決意し再びコースインしました。まだ乾ききらないコース上で転倒のリスクを抱えながら走行を重ねて予選ラストラップで2'20.275を計測し見事108%の基準タイムクリアし決勝出走を決めました。

※この波乱の天候により108%の基準タイムをクリア出来なかったライダーが多数いましたが、特殊な天候だったとのFIMの判断により、救済措置が取られ全チームの全ライダーが出走できることになりました。



■ 8 時間決勝

迎えた8耐決勝は快晴となりました。そしてスタート位置は29番グリッド(前回大会は52番グリッドでした)からのスタートとなります。今大会では喬木村の伝統工芸品『阿島傘』と、飯田市の伝統工芸品『水引』のアクセサリが華を添えてくれました。





伝統のル・マン式スタートは東村選手の熟練の技術により好調な出だしとなりましたが、2 周目のスプーンコーナーで上位 2 台の転倒により、早くもセーフティーが介入する波乱の予感があるスタートとなりました。セーフティー解除後は順調に周回を重ね 24 位まで順位を上げることが出来ました。その後、燃費を慎重に考慮しながら 23 周目にピットインしライダー交代、ピット作業を実施し岡村選手へとバトンを交代しました。第 2 ステイントは気温も一番上昇し、ライダーやマシンにとって一番過酷な時間帯ですが、岡村選手は順調に周回を重ねていきました。その後 27 位 44 周目で櫻山選手へとバトンが交代されました。第 3 ステイントも路面温度が高く非常に転倒リスクが高くなる時間です。そして 56 周目に 2 度目のセーフティーが介入となりました。この時、櫻山選手はエンジンの振動に悩まされて困っていたようですが、セーフティーに助けられて次のピットインまでなんとか持ち応えたそうです。



第 4 ステイントは再び東村選手がバトンを引き継いで順調に周回を重ねました。第 5 ステイントは岡村選手へバトンが引き継がれました。岡村選手は 2 回目の走行も順調に重ねていましたが、99 周目



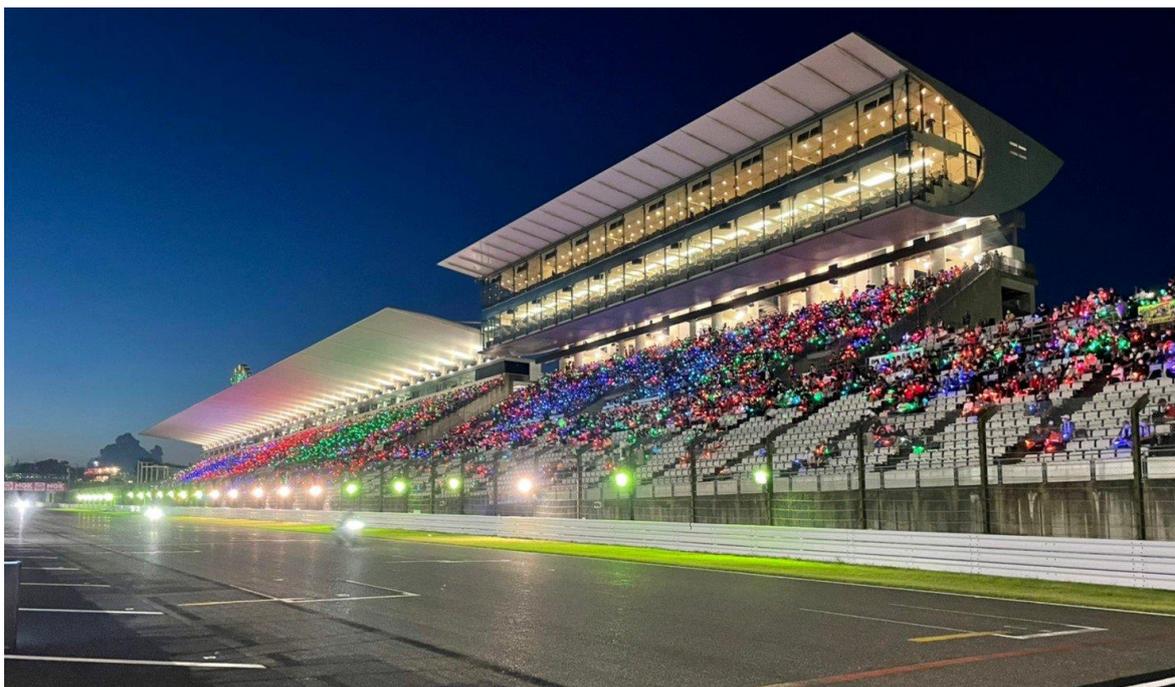
にアクシデントが発生してしまいました。逆バンクコーナーで転倒し、岡村選手とマシンはピットに戻ってきましたが、岡村選手は負傷しマシンはフロント、メーター周りが大きく破損していました。メカニックが総出でマシンの修復に当たります。1 時間以上に及ぶ懸命な修復を終え第 5 ステイントは 37 位で櫻山選手がコースに復帰することが出来ました。コースイン直後は慎重にマシンを走らせ、各部の漏れや振動、音などを確認し問題が無かったためレーシングスピードでの走行復帰をしました。

第 6 ステイントは東村選手にバトンが変わりました。東村選手は気合いの安定した走りで着実に周回を重ねました。続く、第 7 ステイントは岡村選手が負傷しながらもマシンに乗り込み安定した周回を重ねました。ここで今大会 3 回目のセーフティーカーの介入がありました。そして、迎えた最終の第 8



ステイントは櫻山選手に託しました。岡村選手がピットインし、ピットクルーの素早いタイヤ交換、給油を終えて最後のステイントを走るため櫻山選手がコースイン。櫻山選手は公式練習から夜間走行を積極的に走り込んでおり準備は万端でした。夜の鈴鹿サーキットで場所により暗くコースが良く見えなところもある中、程よいペースの安定した走行で順調に周回を重ねて行きました。8時間が経過しチェッカーフラッグが降られ3年越しの悲願であったチェッカーフラッグを受けることが出来ました。ご支援、ご声援をいただきまして誠にありがとうございました。

念願のチェッカーフラッグを受けられましたが、私たちの周回数は160周。完走扱いとなるトップチームの214周の75%をクリア出来るか計算したところ160.5周で、あと0.5周足りず完走とならないことが分かりました。その後、8月19日に発表された正式リザルトで未完走になっていました。



■ライダーコメント

●櫻山 茂昇

Team 長野にご支援、ご声援をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。3年越しの悲願でありました鈴鹿8耐のチェッカーをTeam長野として始めて受けることが出来ました。誠にありがとうございました。ここまでの道のりは遠く険しく何度も挫けそうになりましたが、支えて下さる皆様のおかげ様で何とか活動を継続し、再び鈴鹿8耐に挑戦することが出来ました。

レースにつきましては、前回2019年の失敗を踏まえ、とにかくトラブル無く転倒無く走ることを徹底しました。このレースウィークではフロントに問題を抱えてしまい決勝レース中も不安な状態ではあり、何度も危ない場面はありましたがなんとか乗り切ることが出来ました。チームとしても、スタッフの半数以上が8耐初経験という状況でありましたが経験者を中心に個々のスタッフが全力でレースに挑めたと思います。特に、マシンの修復では正にチーム一丸となって誰一人諦めずに作業を進めた結果、コースに復帰し最後まで走り切ることが出来たのだと思います。今大会も全力で挑みましたが完走扱いまであと1周足りないという非常に悔しい結果となってしまいました。これもレースですのでより良い結果を目指して更なる高みを目指し精進して行きたいと思っております。改めまして多くの皆様にご声援をいただき誠にありがとうございました！！



●東村 伊佐三

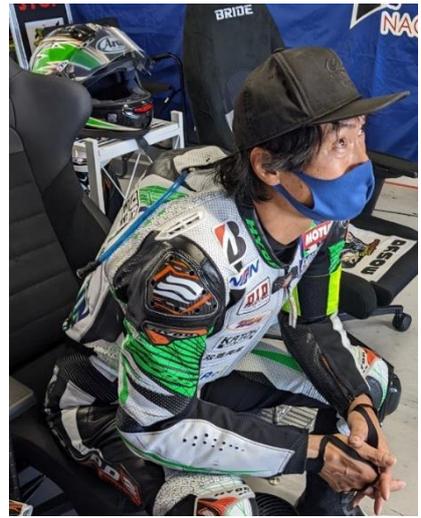
三年振りの 8 耐。いろいろとありましたが皆で力を合わせてチェッカーフラッグを受けることができました。これも皆さんの応援があったからだと思います。ありがとうございました。

8 耐がスタートして 1 周目は慎重に 2 周目からはペースを上げつつ状況を慎重に視ながら順調に周回を重ねて行くと、直ぐにセーフティーカーが導入！

スタート前に左肩に違和感が有った自分としては恵みのセーフティーカーでしたが、波乱の 8 耐を予感しました。やがてセーフティーカーが解除され、タイヤの温度マネージメントを考えながらペースを上げ周回を重ねていると、キャメルバックの口元が外れ、ブレーキングの G で水が吹き出す現象と格闘しながら走る事態に。その後バーエンドが外れ始めてハンドルがホールドできなくなってきて更にペースダウン。ピット IN 前には水が飲めない状況だったので、若干の脱水症状だったと思います。タイヤグリップが落ちてきた後半では、リアタイヤのスライドとフロントの巻き込みをアクセル ON のタイミングを早めコントロールして周回を重ねました。このような状況の中、出来る範囲のライディングはできたと思います。路面温度がヒートする時間帯ではフロントの巻き込みが、いつでも転べるレベルだったと思います！自分も、デグナー2つ目で完全に転んでいましたが、諦めずに耐えていたら奇跡的に立ち直り、誰かに助けられたとしか思えない状況がありました。

今回、アクシデントで順位を大きく下げる事になりましたが、誰が転んでもおかしくない中でプッシュし続けた結果なので、残念ではありますが、頑張った結果と僕は捉えています。それよりも、メカニックチームとチームスタッフの皆が一丸となったマシンの修復作業。「このままでは終れない！」気持ちがひとつと成った成果は今回の 8 耐の中でも最大の収穫だったのではないかと僕は思いました！この時の気持ちを忘れなければ team 長野は来年の 8 耐へ向けても大きく成長できるはずです！

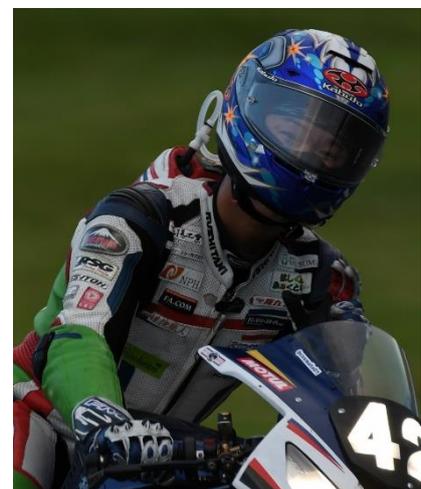
今回の 8 耐に協力、応援して下さいました皆様、関係者の皆様、スポンサーの皆様、第 4 ライダーの皆様本当にありがとうございました。8 耐のリベンジは 8 耐で返します！



●岡村 光矩

2022 年 8 耐の長い長いレースウィークでは、日を重ねる毎にチーム力や信頼関係も増して行き、メカチームも車両の修復やエンジン載せ替えなど、大変な作業もとても力強くこなしてくれました。

決勝レースでは前方車両がオイル漏れによりストップ、その影響からか私自身がレース中に転倒を喫してしまいました。「ピットに戻れば必ずチームが修復してくれる」チームを信じピットに戻り、見事にマシンを修復してレースに復帰する事が出来ました。結果、チームとしてチェッカーを受ける事が出来ました。満足いくレースとはなりませんでしたが、チーム長野のスタッフとの信頼関係、応援して下さいました皆様の声援が強く心に残っております。この悔しさをこれからの糧にして、チーム長野は更に強くなれると確信しております。沢山の応援をありがとうございました！





43rd "Coca-Cola" Suzuka 8 Hours Endurance Race, 05 - 07 August 2022

2022 FIM Endurance World Championship

Suzuka Circuit (5.821 km)

Race - Final Ranking

Classification on the total laps

Pos.	No.	Team	Bike	Cat. pos.	Cat	Laps	Total time	Gap 1st	Gap prev	B. Lap	In lap	T. Pit	Total pit ti...
1	33	Team HRC	Honda	1	EWC	214	08:02:09.131	-	-	2:06.934	113	7	4:53.093
2	10	Kawasaki Racing Team Suzuka 8H	Kawasaki	2	EWC	213	08:02:15.180	1 Lp.	1 Lp.	2:07.177	90	7	5:11.416
3	1	Yoshimura SERT Motul	Suzuki	3	EWC	212	08:03:31.961	2 Lp.	1 Lp.	2:08.157	30	8	5:48.841
4	95	S-PULSE DREAM RACING - ITEC	Suzuki	4	EWC	210	08:02:54.775	4 Lp.	2 Lp.	2:08.558	84	8	6:59.018
5	104	TOHO Racing	Honda	5	EWC	210	08:03:42.462	4 Lp.	47.687	2:08.833	109	8	7:58.353
6	72	Honda Dream RT SAKURAI HONDA	Honda	6	EWC	210	08:04:12.555	4 Lp.	30.093	2:08.872	176	8	6:34.959
7	7	YART - Yamaha Official Team EWC	Yamaha	7	EWC	209	08:03:40.730	5 Lp.	1 Lp.	2:07.781	183	10	16:44.115
8	40	Team ATJ with JAPAN POST	Honda	8	EWC	208	08:02:10.855	6 Lp.	1 Lp.	2:10.010	11	7	7:59.652
9	50	TEAM KODAMA	Yamaha	9	EWC	208	08:02:29.010	6 Lp.	18.155	2:09.402	141	8	9:40.932
10	5	F.C.C. TSR Honda France	Honda	10	EWC	208	08:02:33.132	6 Lp.	4.122	2:08.851	10	8	11:18.410
11	88	Honda Asia-Dream Racing with SHOWA	Honda	11	EWC	208	08:03:30.441	6 Lp.	57.309	2:10.029	56	8	8:14.058
12	54	GOSHI Racing	Honda	12	EWC	206	08:03:16.441	8 Lp.	2 Lp.	2:10.811	111	7	7:06.028
13	64	Kawasaki Plaza Racing Team	Kawasaki	1	SsT	205	08:02:17.004	9 Lp.	1 Lp.	2:10.283	11	8	8:52.118
14	44	SANMEI Team TARO PLUSONE	BMW	13	EWC	204	08:02:36.056	10 Lp.	1 Lp.	2:10.150	151	9	9:53.058
15	11	WEBIKE SRC KAWASAKI FRANCE	Kawasaki	14	EWC	203	08:03:12.199	11 Lp.	1 Lp.	2:10.215	157	7	1:07:16.823
16	806	NCXX RACING with RIDERS CLUB	Yamaha	2	SsT	202	08:03:03.945	12 Lp.	1 Lp.	2:09.968	12	7	19:12.958
17	85	TONE RT SYNCEDGE 4413 BMW	BMW	3	SsT	202	08:03:22.798	12 Lp.	18.853	2:11.046	10	9	17:03.450
18	52	TERAMOTO@J-TRIP Racing	Suzuki	4	SsT	202	08:03:54.412	12 Lp.	31.614	2:13.762	9	7	6:37.134
19	60	Honda Hamamatsu ESCARGOT RT	Honda	15	EWC	202	08:04:00.280	12 Lp.	5.868	2:14.072	28	7	7:34.170
20	3	KRP SANYOKOYO&RS-ITOH	Kawasaki	16	EWC	200	08:03:30.741	14 Lp.	2 Lp.	2:09.857	152	8	19:29.234
21	99	ADVANCE MC & FOC CLAYMORE EDGE with DOGHOUSE	Suzuki	17	EWC	198	08:03:23.882	16 Lp.	2 Lp.	2:16.229	125	8	8:57.668
22	27	TransMapRacing with ACE CAFE	Suzuki	18	EWC	198	08:04:22.582	16 Lp.	58.700	2:15.277	9	8	9:06.825
23	15	TEAM HANSHIN RIDING SCHOOL	Kawasaki	5	SsT	195	08:04:12.508	19 Lp.	3 Lp.	2:13.088	61	8	18:55.189
24	78	Honda Blue Helmets MSC Kumamoto & Asaka	Honda	19	EWC	193	08:02:36.186	21 Lp.	2 Lp.	2:16.899	12	10	13:31.896
25	9	Murayama, Honda Dream, RT	Honda	20	EWC	193	08:04:07.774	21 Lp.	1:31.588	2:09.964	76	9	36:04.184
26	82	Team BIZENSEIKI Kirimoto Techno Works	Kawasaki	6	SsT	192	08:03:08.113	22 Lp.	1 Lp.	2:14.401	11	9	22:14.403
27	74	AKENO SPEED.YAMAHA	Yamaha	7	SsT	188	08:03:15.329	26 Lp.	4 Lp.	2:10.603	11	7	1:50:18.095
28	45	YSS Mercury with TKm	Kawasaki	8	SsT	187	08:04:26.530	27 Lp.	1 Lp.	2:20.604	44	10	21:54.292
29	89	CLUB NEXT & Honda Dream TAKASAKI	Honda	21	EWC	184	08:02:41.789	30 Lp.	3 Lp.	2:13.602	9	7	40:31.117
30	25	Honda Sofukai Suzuka Racing Team	Honda	22	EWC	183	08:03:52.396	31 Lp.	1 Lp.	2:08.626	131	6	1:52:48.451
31	112	Honda Soyukai Tochigi Racing & Dream RT	Honda	23	EWC	173	08:03:45.145	41 Lp.	10 Lp.	2:15.677	71	9	1:04:34.212
32	71	Team MATSUNAGA KDC & YSP NAGOYA KITA	Yamaha	9	SsT	170	08:02:26.932	44 Lp.	3 Lp.	2:17.666	47	11	1:02:57.845
33	69	Auto Race UBE KEN RACING YIC	Kawasaki	24	EWC	169	08:02:54.535	45 Lp.	1 Lp.	2:14.700	52	10	1:19:54.598
34	38	K'sWORKS RACING	Yamaha	10	SsT	165	08:03:16.327	49 Lp.	4 Lp.	2:16.384	11	9	1:15:09.525
NOT CLASSIFIED (Requirements : Must Cross the finish line or 75% of number laps of leader = EWC 161 Lp and SsT 154 Lp.)													
35	42	Shinshu activation project Team NAGANO	BMW	25	EWC	160	08:03:55.004	54 Lp.	5 Lp.	2:13.748	9	7	2:08:33.360
36	61	Team de'LIGHT	Ducati	26	EWC	155	08:02:18.813	59 Lp.	5 Lp.	2:15.337	12	6	2:49:38.160
37	17	Astemo Honda Dream SI Racing	Honda	27	EWC	153	08:04:00.350	61 Lp.	2 Lp.	2:08.323	71	7	2:24:51.120
38	70	OGURA CLUTCH ORC with RIDE IN	Yamaha	28	EWC	149	08:03:27.137	65 Lp.	4 Lp.	2:13.467	112	7	2:09:33.506
39	31	Hamamatsu Team TITAN	Suzuki	11	SsT	144	08:02:53.466	70 Lp.	5 Lp.	2:13.015	56	6	2:57:21.562
40	41	IRF with AZURLANE	Yamaha	29	EWC	144	08:04:29.244	70 Lp.	1:35.778	2:17.463	39	6	2:09:52.664
41	2	EVA RT 01 Webike TRICKSTAR	Kawasaki	30	EWC	142	08:02:10.411	72 Lp.	2 Lp.	2:09.788	15	9	2:31:09.336
42	34	Honda Ryokuyoukai Kumamoto Racing	Honda	12	SsT	139	08:02:54.964	75 Lp.	3 Lp.	2:14.719	97	4	3:22:25.009
43	73	SDG Honda Racing	Honda	31	EWC	139	08:04:04.194	75 Lp.	1:09.230	2:08.828	91	7	2:55:58.391
44	51	T.MOTOKIDS TAKADA I.W. NAC	Yamaha	13	SsT	89	08:02:47.845	125 Lp.	50 Lp.	2:16.265	9	5	6:55:56.998
RETIRED													
45	37	BMW MOTORRAD WORLD ENDURANCE TEAM	BMW	32	EWC	96	03:46:58.843	118 Lp.	-	2:09.887	11	4	2:18.317

B. Lap : 2:06.934 (165.0 km/h), (No.33) NAGASHIMA Tetsuta

BIKE 82 : DRIVE THROUGH CONVERTED ON 1 LAP PENALTY - STEWARDS' DECISION

Jury Président FIM
Igor ESKINJA

19/08/2022 09:56

Chief Timekeeper
Jean-Michel Leluc

19/08/2022 09:55

OFFICIAL SERIES PARTNERS



Start : 11:30, Finish flag : 19:32